

い
ず
み
さ
の
教
育



問合先
学校教育課

泉佐野市教育振興基本計画

みなさんは、「泉佐野市教育振興基本計画」をご存知ですか。本市では平成25年9月に泉佐野市教育行政基本条例を制定し、第3条に「教育委員会 は、市長と協議して、教育基本法（平成18年法律120号）第17条第2項に規定する基本的な計画（以下『教育振興基本計画』という）を定めなければならない」としました。

近年、少子高齢化による人口構成の変化や核家族化などにより価値観の多様化が大きく社会に影響を与え、それらを背景とした人間関係や地域の連携意識の希薄化が心配されています。このような時代背景の中、教育の分野では、いじめや不登校、児童虐待など、学校をはじめ家庭や地域の教育力向上がより一層求められており、長期的な視点に立って新たな時代に対応していくための教育の展望と方向性を定めていくことが、より一層重要となっています。

ど、今後めざすべき教育の基本的な方向性や重点施策などを明らかにした教育振興基本計画を策定することとしたものです。

本計画はこれまでの教育の成果と課題を踏まえつつ、学校および家庭・地域・行政が一体となり、実現をめざすものとして位置づけています。また、期間として「本市総合計画」との整合性などを総合的に考え、向こう10年間にめざすべき教育の姿を明確にしたもの、計画策定後5年を経過したことから、これまでの施策を踏まえた形で見直しすることを基本に、最終目標年度の令和6年度までの計画を、昨年10月に改定しました。

「世界に羽ばたく国際都市泉佐野ーひとを支えひとを創り賑わいを創るー」を掲げる本市は教育も、この認識のもとに展開される必要があり、本計画全体を一貫する教育理念として「主体的に学習に取り組む人材」の育成」を掲げ、実践を重ねています。
※詳しくは市ホームページをご覧ください。

学校園紹介



季節を感じ、自然と触れあう
～第三小学校～

本校は特認校として、市内のどこからでも通学可能な学校です。いろいろな特色を生かした教育活動を行っています。その一つが「緑豊かな学校」であることを生かしたとりくみです。

本校には、四季折々に咲くたくさんの花があり、多くの種類の果実が実ります。今年度も校内で収穫した梅で手作りのジュースを作り、クラスでおいしい梅ジュースを飲むことができました。また、収穫したサクランボを食べたり、ビワやレモンを持ち帰ったり、キンカンの砂糖漬けを食べたりと、果樹園を活用した活動を子どもたちも楽しみにしています。



さらに、本校では数年前から高知県宿毛市と連携して、校内で文旦を育てています。宿毛市の文旦農家の人と市の担当者が毎年本校を訪問し、「出前授業」を行っています。お持ちいただいた本場の文旦と、2年前から本校で収穫が可能になった文旦を食べ比べることも6年生の恒例行事になっています。

本校はICTの利活用も特色として掲げています。子どもたちの情報活用能力の成長を日々感じています。一方、草花や樹木、そして果実から季節を感じ取ることや、そこに集まる虫たちと触れ合うことが、子どもたちの感性を育てるうえでとても大切なことだと考えています。



ビリョクだけどもリョクじゃない
～長南中学校～

長南中学校では、校訓「敬愛」のもと、めざす生徒像を『生きてはたらく学力』を身につけた生徒とし、安全で安心できる、活気に満ちた、人を大切にす学校づくりのため、人権を大切にすることを柱として様々な活動にとりくんでいます。

例年のとりくみに加え、今年度はSDGsについて「ビリョクだけどもリョクじゃない」を合言葉に各学年および有志（「リサイクルチーム」「ジェンダーチーム」「アンネのバラチーム」「廃棄野菜チーム」の4つのチームを編成）によるとりくみを進めています。



また、11月29日～12月22日を本校における人権週間とし、開始日と最終日には人権集会を行い、各学年でとりくんだ人権学習（1年「障がい者問題」、2年「キャリア教育」、3年「反戦平和学習」）を劇にして発表しました。今後も人権意識を高め、お互いが仲間として高め合える生徒集団を育てていきたいと考えています。

